

「日本は核武装をしている」か？ (1)

練馬区 板橋光紀

中国の山東省で二名の共産党員に接触した際、本題である食糧の方は30分程で済み、立ち上がって帰りかけてから飛び出した「グローバル」という言葉に私がつっかかり、「グローバルを云うなら中国は直ちに核実験を止めるべきで、少なくとも核実験を続けているうちは、グローバル云々という資格は無い」と、私としては締め括りの言葉として出したつもりでいたが、先方は少し気色ばんだ顔つきになり「日本だって核武装をしているじゃないか。日本人こそ中国の核実験を批判する資格は無い」と投げ返して来たことにより、この日のトークバトルは仕切り直しとなった。

私は広島や長崎に親戚は居ない。「核」について個人的な係わりを強いて捜せば、仕事の関係で静岡県焼津市に10年間住んでいたことがあり、ビキニの核実験で人類初の水爆犠牲者となった第5福竜丸の久保山愛吉さんの家が近かったこと。それに、大学一年生の時に60年安保闘争に参加して、デモから帰って来る度に、毎晩遅くまで学校の屋根裏部屋みたいな所で、反省会とも勉強会ともつかない集会を持ち、延々と議論を戦わせていたことから、「防衛、安保、核」について耳年増的知識が多少身についたことぐらいであろう。

「日本が核武装」と決めつけられては穏やかではなかったが、私からの主張は全学連風のそれは極力押さえて、オーソドックスと思われる、日本人の平均的な意識の数々だけを努めて述べたものであったと自負している。しかし彼ら隣国の人々の認識との間には多くのギャップがあり、見過ごせない。彼らの主張を整理して挙げると以下のようなになる。

①日本国又は日本人が「自分の持ち物」として核兵器を所持していないことはよく承知している。しかし同居しているお友達（駐留アメリカ軍）が大小各種の核兵器を保有しており、核兵器の搭載可能なアメリカの艦船や航空機が横須賀や沖縄の基地等を母港として使用している場合、隣国で国防をあずかる当事者にしてみれば、「日本列島には」核兵器が「配備」されているとの心構えだけは持つ必要があり、「日本方面から核が飛んで来ることは絶対にあり得ない」等の楽観的な認識で国防政策を立案することは許されない。

②日本政府はアメリカの核持ち込みを否定しているが、アメリカ軍側は否定も肯定もしていない。そして「ラロック発言」「エルズバーグ発言」「ライ

シャワー発言」等から、少なくとも横須賀や沖縄に停泊しているアメリカの艦船や航空機には核が搭載されており、しかもいつでも発射可能な態勢にあると考えられる。日本人はアメリカの艦船や航空機が日本へ向かう際には、核兵器の類をすべてカリフォルニアかハワイで必ず積み降ろしてから日本の港へ入って来るシステムになっていると思い込んでいるかもしれないが、湾岸戦争の時に日本の母港から中東へ急派された艦船も、昨年沖縄で待機していた空母が台湾海峡で行われた中国の演習を見学に来た時でさえ、通常兵器だけを搭載して出動したものととは考えにくい。

③核兵器は繰り返し実験を重ねて完成したものでない限り制度の高い兵器として信頼することが出来ない。アメリカやソビエト等はこれまでに数多くの核実験を行って核兵器の精度を高めて来ている。アメリカの姿勢は自国の核保有の重要性を主張する一方で、他国の保有放棄を求める甚だ傲慢なものと思わざるを得ない。日本がアメリカ製実験済みの完成品核兵器の傘で庇護を受けているならば、日本自身が核実験や核兵器に手を染めて来なかったと主張しても自慢にならないし、他国の実験を非難出来る立場にはない。実験国も被庇護国も地球の大気を汚染して来た罪の重さでは同罪であるからだ。

アメリカの核を頼りにしている韓国やロシアに海軍基地を提供しているベトナムも日本と同列ではあるが、韓国は中国に対し「実験がケシカラン」とは云って来ない。その点では日本より韓国の方がスジが通っている。又非現実的ではあるが、インドの主張する「全世界の国々が核全廃に署名しない限りインドは廃絶に同意しない」は理解出来る。全世界が廃絶するなら中国だって廃絶に異存はない。中国は取り敢えず「核の先制不使用」を宣言している。

④仮定の話でもあるし、現実にあってはならないことで、話のテーマにすることさえも不愉快ではあるが、日本の領海内に存在すると思われる核が使用される事態に陥った場合、当然のことながらその発射ボタンはアメリカ人によって押されるものと考えられる。しかしそこへ到るまでの経緯としては3つのケースが想定出来る。それは、

1) アメリカが消極的であるにもかかわらず、日本側の強い要請でボタンが押される。この可能性は極めて低い。

2) アメリカと日本がよく話し合って、双方の合意